

佐保会静岡支部だより 31号

令和6年3月3日

支部長挨拶

～越し方行く末～

支部長 西田 泰子 (S55 文教)

佐保会静岡支部役員を西部地区から引き継ぎ、しばらく地区活動にもご無沙汰していた自分にながでできるか心配もありましたが、支部総会では県内各地から諸姉の参加を得て、そのお元気さ、前向きさに明日からの活力を頂きました。かつて奈良女子大生であったこと、今静岡県に住んでいること、このたった二つの共通項で結ばれた絆ですが、皆さんにお会いすれば若かった奈良の地での自分を思い出し、懐かしさとともに今ある姿を振り返る、そして先輩諸姉のお話からこれからの生き方を考えるといった、あたかも自分の人生の点検作業をしているような気持ちになる集まりです。

今年初めて参加した一般社団法人佐保会代議員定時総会・奈良女子大学同窓会総会では、

いくつかの支部の活動状況を聞く機会を得ましたが、どの支部も総会、研修会等への参加率の低さ、参加者の高齢化などが課題として挙がっていました。一つの要因として野口理事長から説明のあった卒業生の動向が影響していると考えました。野口理事長は各県からの入学者の人数と、卒業生の住所別人数を比較し、卒業生の多くが卒業時には地元に戻らず大都市に流れていることを報告しています。ちなみに昨年度は22人の静岡県出身学生のうち、静岡県に戻ったのは7人でした。少子化も相まって地方の会員数が減少していく中、どのような支部活動が皆さんのニーズに合っているのか、改めて考えさせられるお話でした。せつかく皆さんと結べた絆を次につないでいける支部活動を目指します。

令和5年度 佐保会静岡支部総会・研修会

令和5年6月11日(日)11:45～15:30
会場：無庵、静岡市歴史博物館 参加者 28名



令和5年度佐保会静岡支部総会
～茄子の花 無庵にて～

【I】支部総会 11:45～12:15

(1) 令和4年度事業報告

- ① 6月12日 令和4年度佐保会静岡支部総会・研修会の実施 (掛川市加茂荘花鳥園にて)

- ② 9月25日 一般社団法人佐保会代議員定時総会・奈良女子大学同窓会佐保会総会出席
- ③ 10月15日 中部地区会の実施「駿府城公園葵舟・静岡市歴史博物館(プレオープン)」見学会後食(ヴォーシェルにて)
- ④ 令和5年3月上旬 支部だより発行・発送
- ⑤ 令和5年3月18日 新旧役員引継ぎ会

(2) 令和5年度役員

支部長	西田 泰子 (S55 文教)
書記	白鳥 孝子 (S53 家生)
会計	服部 京子 (S52 家生)
会計監査	内田 隆子 (H9 文教)
ホームページ	松本真由美 (S56 理数)
東部地区幹事	伊達 恵 (H5 文教)
	小澤 知子 (H3 理生)
中部地区幹事	川村 美智 (S50 文教)
	石川 芳恵 (S58 文英)
西部地区幹事	奥山 恭子 (H1 理生)
	小國 佳子 (H1・3 家修生)

(3) 令和5年度事業計画

- ① 6月11日 令和5年度佐保会静岡支部総会・研修会および懇親会実施
- ② 9月24日 一般社団法人佐保会代議員定時総会・奈良女子大学同窓会佐保会総会出席
- ③ 10月～11月 各地区会の実施
- ④ 令和6年3月上旬 支部だよりの発行・発送

(4) 令和4年度会計報告、令和5年度予算収入の部

項目	4年度実績	5年度予算
前年度繰越金	313,139	249,715
本部会費	183,000	183,000
令和4年度以外の本部会費	3,000	—
支部会費	149,000	153,000
令和4年度以外の支部会費	4,000	—
社団法人佐保会より 支部活動・会報発送補助金	52,430	50,000
預金利息	2	2
合計	704,571	635,717

支出の部

項目	4年度実績	5年度予算
本部会費	186,100	183,100
支部総会費	53,348	70,000
地区活動費	31,540	31,800
会報発送費	78,120	79,200
事務費(会報印刷費等)	43,788	50,000
支部長活動費	3,000	3,000
書記・会計活動費	3,000	3,000
本部総会交通費	11,000	22,000
引継ぎ費	44,960	0
予備費	—	193,617
次期繰越金	249,715	—
合計	704,571	635,717

【II】 昼食・懇談 12:20～13:30

総会後は日本料理に舌鼓をうちながらの懇談となりました。その方の人生を垣間見るような自己紹介やご活躍の近況報告に元気をいただいたり、ユーモアたっぷりのお話に笑い



がこぼれたりする楽しいひとときでした。昭和32年から令和5年までにご卒業の、老いも若きも世代を越えた同窓生の交流ができました。

【III】 研修会

(1) 静岡市歴史博物館見学 13:45～14:25



静岡市歴史博物館は令和5年1月にグランドオープンしました。館の建設に伴い、33mにわたって発見された駿府城下の道と石垣の遺構を館内1階に取り込んで

公開しています。全国的にも珍しい発見です。基本展示室1では駿府で過ごした徳川家康の、戦いに明け暮れた日々と、その人となりに迫ります。また、駿府の基礎を築き、家康を育んだ戦国大名今川氏の繁栄を紹介しています。基本展示室2では家康が基礎を築いた江戸時代の東海道と駿府城下町の繁栄について紹介しています。(静岡市歴史博物館パンフレットより抜粋)

興味深い展示を通じて、大御所時代の駿府の意義を学ぶことができました。

(2) 講演会 14:30～15:30

「大御所時代の駿府は日本の首都だった!!」

講師：中村羊一郎氏

(静岡市歴史博物館館長)



大御所時代の駿府は日本の実質的な首都で、重要政策は駿府で決まるなど政治、経済、外交の中心でした。

スペイン国王から贈られた久能山東照宮の時計の背景やビスカイノ『金銀島探検報告』の解説をはじめ、外国の使節団が隊列を組んで駿府城下町を行進してお城入りするお話など、駿府の繁栄の様子が見て取れるようでした。

文化的には今川時代から能や狂言が盛んで大御所時代には伊勢踊り(そろいの派手な衣装で笛太鼓に合わせて街中を練り歩く風流踊り)の大流行がありました。活気にあふれた駿府城下町には踊り手や遊女が集まり、派手な衣装、風俗が流行りました。



また、三方ヶ原合戦には家康敗走伝説がありますが、逃げる家康をかくまって褒美をもらうなど、家康は人々に恩恵を与えるカミとして神格化されたということです。庶民のカミとしての家康が幕藩体制を下支えしたというお話は特に印象に残りました。

中村羊一郎館長ならではの人間味溢れるご講演と静岡市歴史博物館見学は内容の濃い充実した研修会となりました。

地 区 会 報 告

新型コロナ5類移行により、今年度は3地区の幹事さん思い思いの企画で地区会が催されました。地区会には住んでいる町で出会う身近さがあります。ぜひご参加ください!!

【東部地区】 幹事 伊達恵 小澤知子

令和5年11月11日 11:30～ 参加者6名



ここ数年、コロナのため開催できなかった地区会を、久しぶりに開催することができました。三島駅近くの「四季酒菜 風土」

で昼食をとりながら歓談しました。顔を合わせて食事をする機会が、ようやく戻ってきたところですが、やはり、リモートではなく、お互いの顔を見て、言葉を交わす楽しさに勝るものはないと感じられるひとときでした。

それぞれの近況や懐かしいお話など、これまでの東部地区会の様子を含め、ゆっくりうかがうことができました。今後、前向きに様々なことをとらえて生活していくエネルギーを皆様からいただきました。

【中部地区】 幹事 川村美智 石川芳恵

令和5年10月14日(土)に中部地区会を開催しました。静岡浅間神社見学とヴォーリズ建築で知られるレストランで会食という企画に14人が参加しました。2人のガイドさん(駿府ウエイブ)の案内で大河ドラマ館からスタート。境内にある七つの神社を急ぎ足で巡り、本殿では天女や力士など立川流彫刻を眺め大拝殿越しに富士山も望むことができました。



後半は徒歩で洋館「ミス・カニンハム」(旧英和女学院宣教師館)へ。クラシカルな室内での食事に話が弾み、「しずおかの女たち第11集」を刊行した女性史研究会の先輩やトルコ旅行から帰ったばかりの先輩はじめ、皆様の楽しい近況報告に元気づけられた一日でした。

【西部地区】 幹事 奥山恭子

令和5年10月29日



(日)、掛川城近くの竹の丸にて3年ぶりに西部地区会を開催しました。(参加者9名)竹の丸は、将棋のタイトル戦も行われた近代和風建築のすてきな建

物です。今回はその一室をお借りし、近況報告をしながらお弁当をいただきました。その後、近くのステンドグラス美術館をボランティアガイドさんの説明付きで鑑賞。再び竹の丸に戻り、棋士の藤井聡太さんや羽生善治さんの勝負おやつとして話題になったケーキと飲み物をいただきながら、時間の許す限り楽しくおしゃべりをしました。人生いろいろなことはありますが、私もみなさんのように明るく楽しく機嫌よく過ごしていきたいなと思えた一日でした。

令和5年度佐保会代議員総会・同窓会報告



西田泰子静岡支部長

令和5年9月24日恒例の奈良ホテルで大学関係者も含め会場108名、オンライン33名(うちお一人はニューヨークから)の参加者をもって一般社団法人佐保会第12

回代議員定時総会・奈良女子大学同窓会佐保会第12回総会が開催されました。学長からはコロナ禍で中止となっていた卒業後30周年同窓会3学年分が今年度それぞれ開催されたとのお話がありました。また令和4年の出生数は80万人を切り今後急速に進む学生数減少という事態に備えて奈良女子大学が持続可能

な大学であり続けることを強調されていました。

今回は定款の改定がありました。静岡支部には現在4人の代議員が割り当てられていますが、支部役員3名を代議員としているため1名欠員の状態です。今回の総会で代議員の選出基準が正会員「100人から1人」から「150人から1人」に改定されたため、静岡支部の代議員欠員問題は解消する可能性があります。また「正会員期間が61年目からの会費納入は任意とする」となりました。





大塚佐枝美さん

(S39、S41 家修食卒)

大塚佐枝美さんは 2022 年 8 月、男女共同参画の日に、静岡女性史研究会の代表として静岡県知事褒章を受章されました。長年にわたり静岡県内で活躍する女性を取材して出版した「しずおかのおんなたち」を通じて、女性の活躍推進に取り組んだ功績がたたえられたものです。また 2023 年の新刊、第 11 集では選択的夫婦別姓が特集されています。

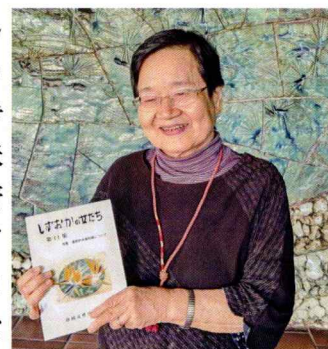
～ 女性史は面白い～

私は四国の愛媛県に生まれまして、静岡に住むようになって 47 年になります。

その間に PTA に始まって、静岡女性史研究会、大学婦人協会、家庭裁判所調停員や NPO 法人あざれあ交流会議理事等のお役をやらせていただき、多くの人と知り合い、静岡という土地に認識を深めることができました。

中でも女性史研究会では、信頼に基づいた人達からの聞き書きを通して、多くのことを学ばせていただきました。「背くらべの歌」の作詞者海野厚を巡る人々、農家の主婦がいかに自立を

求めて自己解放をしてきたか？満州からの引き揚げ者や戦争によって発生した未亡人の存在は、政府の意向に乗せられて振り回され、二度と戦争のある世の中を招き寄せてはいけな



いということをお教えました。一方でアイランドから日本の土を踏んで異国で 60 年の英語教育に携わったウィニフレッドなど、地域にあつて全力で貢献くださった人物の存在。名もなき存在であった女性たちがそれぞれに生きやすいあり方を求めて自己実現を図っています。

女性の一人ひとりの生き様は実に多様で面白味を感じさせてくれます。個人の証言は過去の事実を明らかにします。一人ひとりの想いが世の中を動かす力となることを自覚し、命をはぐくむ女性たちがエンパワーして、戦争のない社会を実現することに心を配っていただきたいと思ひます。そのためにも政策決定の場面に女性の参画が必要だという想いを深くしております。

お知らせ

(1) 令和 6 年度静岡支部総会のお知らせ

令和6年度支部総会は令和6年6月9日（日）に静岡市内で開催予定です。研修会として下位香代子会員の研究テーマであるポリフェノールの役割、効用や私たちの食生活にどのようにとり入れるかなど、健康を考える研修会を企画しています。ぜひ、皆さんご参加ください。

(2) 静岡支部ホームページ

担当 松本真由美 (S56 理数)

中小企業診断士・ITコーディネータの資格（経産省所管）等で、気づけば足かけ30年中小企業の経営支援を行っています。

8年余り母の介護が続く一方、昨年5月に13歳の飼犬が永眠しました。

奈良奉行所が舞台の鹿政談などの落語や庭いじりでペットロスと介護疲れを癒しています。

佐保会静岡支部のホームページは『佐保会静岡支部』と検索するか、スマホで左のQRコードを読み取れば、静岡支部の活動の様子などがご覧いただけます。



(3) 会費納入のお願い

円滑な支部運営のために、令和5年度会費が未納の方は下記のゆうちょ銀行口座に振込をお願いいたします。口座番号 00860-2-18252

加入者名 奈良女子大学同窓会佐保会静岡支部
本部会費 1,500 円 支部会費 1,000 円

(4) 住所変更改姓等の連絡

住所変更・改姓等の異動は佐保会本部・静岡支部長・地区幹事のいずれかに必ずご連絡下さい。毎年郵送したものが何通か、戻ってきます。

出版しました 下位香代子さん (S51 理化)
静岡県立大学名誉教授

「ポリフェノールの科学」
—基礎化学から健康機能まで—

寺尾純二・下位香代子監修、越阪部奈緒美、
榊原啓之、村宜督、三好規之、室田佳恵子編集、
朝倉書店

編集後記

同窓会や支部だよりの編集を通じて、多くの佐保会会員の皆様と出会い、ご縁ができましたことを大変うれしく思っています。また支部だよりに寄稿いただきました佐保会会員の方々に心より感謝いたします。(書記:白鳥)